



令和2年3月1日選定

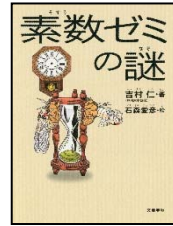
図書館員が選ぶおすすめの本

～中学生向け～



「素数ゼミの謎」

吉村 仁 // 著 石森愛彦 // 絵 文藝春秋



「素数ゼミ」について聞いたことはありませんか？アメリカにいるゼミで、13年間、または17年間も土の中で暮らしているそうです。このゼミの不思議なところはそれだけじゃありません！素数ゼミの謎(ナゾ)を探ってみませんか？

「空飛ぶ救命救急室 ドクターヘリの秘密」

和氣晃司 // 著 彩流社



テレビドラマでも話題になった「ドクターヘリ」。このドクターヘリについてどれだけ知っていますか？テレビでは描(エガ)かれなかったその実態を、獨協医科大学病院のフライトドクターである著者が記します。

「関野吉晴ゼミ カレーライスを一から作る」

前田亜紀 // 著 ポプラ社



「カレーライス」を作ったことはあっても、カレーライスを作ったことがある人ってどれだけいるんだろう。関野吉晴ゼミの人たちは、米・野菜・お肉にスプーンまで、一から作ってみることにしました。作ってみて初めて見えてくること…。

「この川のむこうに君がいる」

濱野京子 // 作 理論社



梨乃が友人達と違う高校に入学したのは理由があった。しかし、入部した吹奏楽部には東日本大震災で被災したという遠がいて…。それぞれの運命を背負いながら、それでも人は生きていく。

「疾風の女子マネ！」

まはら三桃 // 著 小学館



面倒なことはしたくないけど、男子にはちやほやされたい。そんな気持ちで運動部のマネージャーを希望していた咲良。ある日、風のように駆ける姿に目を奪われ、追いかけた先にあったのは陸上部で…。マネージャーと部員が描く青春の物語。

「銀河鉄道の夜」

宮沢賢治 // 作 岩波書店



ケンタウル祭の夜、少年ジョバンニはいつしか、級友のカムパネルラとともに天空をゆく汽車にのっていました。宮沢賢治の言葉がつむぎだす、きらきらした宝石のような世界。表題作をふくめ幻想的な7編です。

「むこう岸」

安田夏菜 // 著 講談社



勉強で挫折(ザセツ)した山之内和真、母子家庭となり生活保護を受けている佐野樹希。2人の中学生が、それぞれの境遇でもがき苦しみながらも、ひとすじの光を見出していきます。

「スピニー通りの秘密の絵」

L.M.フィッツジェラルド // 著 千葉茂樹 // 訳 あすなろ書房



「卵の下を探せ」これが、祖父が残した最期のことば。そこに手紙と宝物があるという…。それらを見つけ出すため、隠された絵画にひそむ数々の謎(ナゾ)に挑む！

「ジーンズの少年十字軍 上下」

テア・ベックマン // 作 西村由美 // 訳 岩波書店



少年ドルフはタイムマシンで13世紀ドイツへ。そこで何千人もの子どもたちの行列に巻き込まれ現代に戻れなくなり、この大集団とイタリアのジェノバをめざすことに。飢えや病気で子どもが次々に死に、何やら陰謀の影も…。かれらの運命やいかに！？そしてドルフは…。

※対象年齢は目安です。



那須塩原市図書館

